55 期生の仲間たち

東三国中学校 1 年生学年通信 vol22 2015 年 7 月 7 日(火)

2くみ Hさん

入学式の日、仲良かった友達とはなれて、さみしかったのを覚えています。新しい友達やたくさんの先ぱいがいる部活、色々なドキドキや不安でいっぱいでした。今は、友達としゃべっていて楽しいし、部活も、しんどいときや先ぱいが怖いこともあるけど楽しいです。今思うと、私はたくさんの友達や先ぱいがいて、とても感謝しなければならないんだなぁ と思いました。

勉強は小学校と比べ難しくなってテストも大変でした。教科ごとに先生が変わり、教わる事もちがうことで、混乱する事もあったけれど、苦手を克服する気持ちでがんばります。

もうすぐ夏休み。一学期思いだして、一日一日を大切にしていきたいです。

2くみ Mさん

中学生になって、部活動が始まりました。小学校ではクラブをしていたけどほとんど遊びでやっていたので本気で活動をしたことがありませんでした。

私はバドミントン部に入部し一年生が二人しかいませんでした。練習は、すごくきつくて、しんどいけど部活は楽しいです。先輩はこわい時もあるけど、おもしろくて優しいです。こうやったら上手にできる！ナイス！などと声をかけてくれたり、アドバイスをしてくれたりします。

全然、上手くならなくていやだと思う事がたくさんありました。今もそう思うことがあるけど、最初入部した時よりそう思うことはなくなりました。これからも部活を楽しくできたらいいなと思います。

これからも部活を楽しくできたらいいなと思います

「愚直」という言葉が好きです。世の中には何をやらしても器用にこなす人が、たまにいるよね。あんまり必死に勉強しているようにみえないのに、テストの点数がよかったり、部活でも新しいことを教えてもらったら、すぐにできるようになったりとか。

でも、多くの人はそうはいかない。がんばってもがんばっても、なかなか上達せず、自分の思い通りにいかない。

そんなときに、「愚直」にはってほしい、と思うんです。「愚直」とは、私流の解釈ですが、愚かなほど直っすぐ、メゲずにがんばりつづけること。私の長い経験から言わしてもらえば、不器用な人が一生懸命努力してつかんだ技(スキル)ほど強いものはない。何千回も何万回もくり返して同じことをやる、単調なことをくり返し練習する、あるいは練習できる強さ。決して手をぬかず、ヘトヘトになるまでがんばり続けられる強さ。

私のやでは、それを「愚直」といいます。

がんばってもなかなか上達しない時期というのは、誰にでもあります。そこでどれだけ辛抱できるか。耐えてがんばり続けることができたら、その先にみえてくるものは必ずあります。

もうすぐ夏休み。ふだんとは違って、時間的にも場所的にもいっぱい練習ができます。夏が過ぎた時に、それまでとは違う自分をみつけることができたらいいな。